

式 辞

桜のつぼみも膨らみ、やがてハナミズキも花開く春。この良き日に、保護者の皆様にご臨席いただき、第三十四回卒業証書授与式を挙行できますことは、大変ありがたく、ここに厚くお礼申し上げます。

たった今、卒業証書を手にした五十一名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今年も新型コロナウイルス感染防止のため、在校生の出席やご来賓の皆様のご臨席はかありませんが、皆さんの思いも受け止め、小学生生活の最後のまとめとしてほしいです。

卒業される皆さんの心の中には、それぞれに多くの思い出が巡っていることと思います。

六年前のことを覚えているでしょうか。ラン

ドセルを背負い、お家の人に手を引かれて、小学校の校門をくぐったあの日のことです。何もかもが初めてで、毎日新鮮だったことでしょう。それから六年間、皆さんは雨の日も風の日も学校に通い、心も体も大きく成長して今ここにいます。

私は皆さんとは、去年の四月からの二年間の付き合いでしたが、まさに新型コロナウイルス感染予防対策の学校生活でした。

その中でも、最上級生として、下級生を思いやり、学校を支えてくれる皆さんには、頼もしさを感じました。

運動会では、ぬかるんだ校庭を一生懸命復旧作業し、運動会ができるようにしてくれました。プール掃除では、二年分の落ち葉や泥をきれいにしてくれました。皆さんの力なくしてはどち

らもできなかつたでしょう。とても感謝しています。

日光修学旅行では、華厳の滝に大きくてきれいな虹がかかっている、みんな「わーっと」歓声を上げていましたね。写真にもくっきりと残るほどの色合いで私も初めて見ました。いつも頑張っている皆さんへのご褒美だったのかもしれない。

他にもマラソン大会、国会議事堂見学等、新西小の卒業生は、幸運にも学級閉鎖が一度もなく実施することができました。体力向上プロジェクトとして全校で取り組んだ「松戸市体力特級章」では、去年は、市内2位、今年は、とうとう市内1位の申請率を誇る学校になりました。それは、みんなの積み重ねた努力の結晶といっても良いでしょう。

最後に六年生を送る会では、在校生から皆さんに感謝の気持ちを込めた素晴らしいプレゼント

トが贈られましたね。卒業生の皆さんの頑張ってきた日々は、皆さんの心の中にも、在校生の心の中にも生き続けます。これからも苦しい時や悲しい時には、この思い出を自信として、また、勇気として乗り越えて行って欲しいと思います。

令和の時代に入り、日常にある喜びに、改めて気づくことが多くなったのではないでしょうか。朝起きて、朝食を食べ、登校し、学校で友達と仲良く楽しく過ごし、下校し、夕食を食べて、寝る。その日常生活の裏にも、多くの人たちの苦労や努力があつてこそ成り立っている社会なのです。常日頃から感謝の気持ちをもって、日常を生きていければ平和でよりよい社会になるのではないのでしょうか。

新しい社会を作っていくのは、これから大人になつていく皆さんです。そのためには、まず

「行動すること」そして「粘り強くあきらめないこと」です。皆さんのこれからの歩みを期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。ここまで立派に成長されたお子様の姿に感慨ひとしおのことと思います。お子様方がますますたくましく健やかにご成長されますことを職員一同祈念しております。

なお、六か年の間、本校の教育にお寄せいただきましたご厚情に対し厚くお礼を申し上げ、私の式辞といたします。

令和四年三月十七日

松戸市立新松戸西小学校

第十五代校長 吉田 隆